

新聞が家庭に届くまで

新聞ってどうやってできて、毎朝おうちに届くんだろう?「新聞屋さんのお仕事」を紹介するよ!



① 取材

記事を作るために必要な情報を集めていきます。
記者は、自分の目で現場を確認したり、たくさんの人に話を聞いて取材を行います。



② 記事

記者は取材をもとに、事実を正確につたえるためにいつ、どこで、だれが、なにを、どのように (5W1H) を意識してわかりやすく記事を書いています。



③ 記事のチェック

記者が書いた記事は、「デスク」とよばれるベテランの記者がチェックします。
記事の内容に間ちがいがないか確認して、わかりにくい部分を手直します。



④ 編集会議

記者からよせられたさまざまな記事のなかから、どの記事をどのように載せるかを話し合います。



⑤ 紙面の編集



紙面のレイアウトを担当する「整理記者」が記事の見出しをつけたり、記事のレイアウトを決めます。いかに読者の目を引き、読みやすくするかが重要です。大きなニュースが飛び込んでくると、それまでのレイアウトが全部変わることもあります。

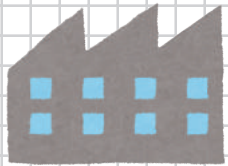
⑥ 校えつ

人の名前や地名など記事に書かれている内容や文字に間違いがないか確認します。



⑦ 紙面データの送信

出来上がった紙面は、データで印刷工場に送られます。



⑧ 印刷

高速で動く輪転機を使い、短時間で大量部数を印刷します。



⑨ 発送

各地の印刷工場からトラックや船、飛行機で全国にある販売店に配送します。



⑩ 配達

各販売店で住所ごとに分け各家庭にバイクや自転車などで配達します。



1つの新聞ができるまでに、たくさんの人が関わっているんだね。

街がまだ寝静まっている朝早くからひとつ一つ、みんなの家の玄関まで販売員が配って回るんだね。

